

景観形成基準チェックシート

※適合する項目のチェック欄に、レ点を記入してください。

			景観形成基準	チェック欄												
形態 建築物の 意匠	意匠	壁面	<ul style="list-style-type: none"> 華美な装飾等は避け、西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮したデザインとする。 建築物の壁面の位置は、周囲のまちなみとの連続性に配慮したものである。 													
		建築物の色彩	<ul style="list-style-type: none"> 建築物の色彩は、以下に定める色彩基準に適合するとともに、西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮したものである。 ただし、建築物の着色していない木材、土壁、石材などの自然の素材及びガラスなどの材料によって仕上げられる部分の色彩、又は建築物の見付面積の5%未満の範囲で外観のアクセントカラーとして着色される部分の色彩については、この限りでない。また、歴史的な社寺や、地域に親しまれる景観資源となっている建築物等については、必要に応じて色彩基準の適用除外とする。 <p>【色彩基準】</p>													
		屋根以外	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用する色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R・YR系</td> <td>4～9</td> <td>5以下</td> </tr> <tr> <td>Y系</td> <td>4～9</td> <td>4以下</td> </tr> <tr> <td>R・YR・Y系以外</td> <td>4～9</td> <td>2以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>N系については、明度を定めない。</p> <p>ただし、全面に黒を使うことは避け、明度4程度の暗い灰色とする、あるいは黒と他の色を組み合わせるなど、圧迫感を軽減するよう配慮する。</p> <p>【色彩基準】</p>	使用する色相	明度	彩度	R・YR系	4～9	5以下	Y系	4～9	4以下	R・YR・Y系以外	4～9	2以下	
使用する色相	明度	彩度														
R・YR系	4～9	5以下														
Y系	4～9	4以下														
R・YR・Y系以外	4～9	2以下														
		屋根	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用する色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R・YR・Y系</td> <td>4以下</td> <td>4以下</td> </tr> <tr> <td>R・YR・Y系以外</td> <td>4以下</td> <td>2以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>N系については、明度を定めない。</p>	使用する色相	明度	彩度	R・YR・Y系	4以下	4以下	R・YR・Y系以外	4以下	2以下				
使用する色相	明度	彩度														
R・YR・Y系	4以下	4以下														
R・YR・Y系以外	4以下	2以下														
素材・材料			<ul style="list-style-type: none"> 西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮した素材及び材料を使用するように努める。 外壁、屋根に使用する材料は、光沢の少ないものとする。 													
敷地内の緑			<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積×1/400本以上の中高木（高さ1.5m以上）を植栽する。なお、設置基準の小数点以下は四捨五入とする。 植栽については、できるだけ道路に面する部分に設置するとともに、西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮する。 													